

注 意 報

農 技 七 第 6 5 0 3 号
平 成 2 6 年 5 月 1 9 日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成26年度農作物病虫害発生予察情報について

平成26年度農作物病虫害発生予察注意報第1号を公表したので送付します。

平成26年度病虫害発生予察注意報第1号

平成26年5月19日
徳 島 県

勝浦町及び上板町における予察灯での果樹カメムシ類の誘殺数が平年より多く、本年2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査においても、全地点で越冬を確認し、越冬密度も昨年に比べ高かったことから、今後も発生が増加し被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

農 物 名：果樹全般（特に、ナシ、モモ、ウメ、カキ、カンキツ類等）

病虫害名：果樹カメムシ類（主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 5月下旬～
3. 発生程度 中～多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

(1) 予察灯における4月1半旬から5月3半旬までの果樹カメムシ類誘殺数

勝浦町では、ツヤアオカメムシが162頭、チャバネアオカメムシが52頭で、平年(ツヤアオカメムシ118.4頭、チャバネアオカメムシ43.1頭)および前年(ツヤアオカメムシ106頭、チャバネアオカメムシ11頭)に比べてやや多い。

上板町では、ツヤアオカメムシが320頭で、平年(194.8頭)および前年(2頭)に比べて多い。一方、チャバネアオカメムシは24頭で、平年(106.0頭)に比べて少ないが、前年(1頭)に比べて多い。

(2) チャバネアオカメムシの越冬密度

2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では、全地点で越冬を確認し、越冬成虫は6.6頭/m²であった。昨年(11地点×2か所の調査では5地点で越冬を確認し、越冬成虫は0.41頭/m²)と比べて越冬密度は高かった。

(3) 高松地方气象台が5月15日に発表した1か月予報では、天気は数日の周期で変わり、気温は平年より低く、降水量は平年並、日照時間は平年並か低いと見込まれており、やや発生抑制的な気象条件である。

5. 防除法等

- (1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行なう。
- (2) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- (3) 飛来数が多い場合は、継続的に防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する可能性があるため、ハダニ類の発生にも十分注意する。
- (4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

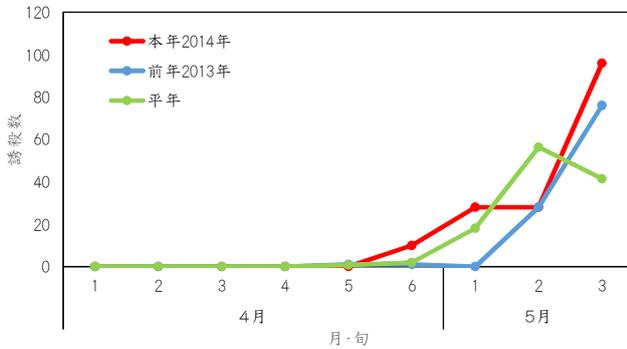


図1 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)

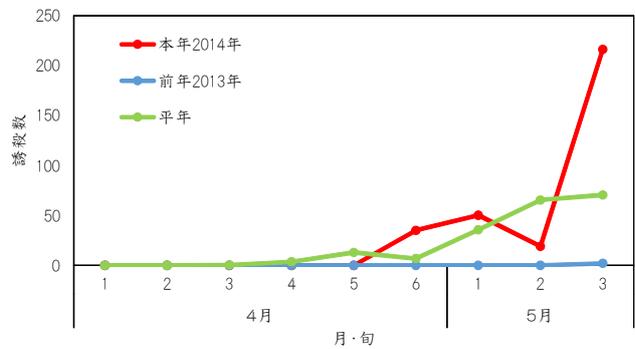


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長(上板町)

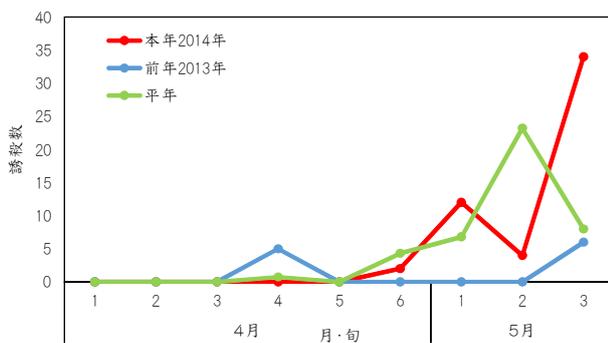


図3 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)

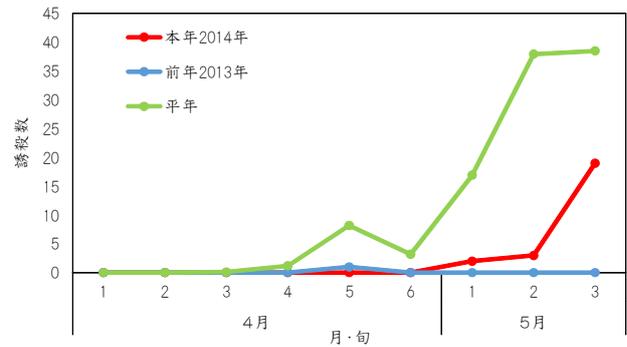


図4 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長(上板町)



図5 ツヤアオカメムシ



図6 チャバネアオカメムシ